

高松医療センター

Medical News



基本理念

私達は、患者様とその御家族の立場に立った医療の推進に努めます

『地域から支持される病院』高松医療センターMedical News第2号の発刊に当たり 院長 細川 等

暑中お見舞い申し上げます。

平成25年4月から水重前院長の後を継ぎ、病院のかじ取りを任せられました細川です。新年度が始まってから、あつという間に3か月が過ぎましたが、対外的な仕事は殆ど出来ずに時間だけが経ってしまいました。皆様方には何かと失礼やご不便をお掛けすることが多々あると存じますが、何卒ご容赦お願い致します。

今年初めに「高松医療センターMedical News」を創刊し、第2号となります今回は、病院の現状、目標、将来などについて、書かせて頂こうと思えます。

当院は現在12名の常勤医師と20名前後の非常勤医師により診療を行なっています。常勤医師の内訳は神経内科3名、内科・呼吸器内科・循環器内科に各2名・消化器内科・外科・整形外科に各1名です。非常勤医師は名誉院長となられた水重先生、香川大学名誉教授の前田先生をはじめ、外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・耳鼻科・眼科・歯科の先生方により構成されています。240床の病床のうち、120床は神経難病に、20床は結核ユニットに、100床が一般病床(うち84床がDPC対象病床、16床が亜急性病床)に割り振られています。現在、診療の柱は神経内科と呼吸器内科ですが、内科系診療において、一般内科はもとより、冠動脈・末梢動脈のインターベンションを中心とした循環器内科、内視鏡検査・治療を主体とした消化器内科、さらには糖尿病・内分泌・代謝疾患などの専門診療にも対応可能な体制をとっています。

また外科系では骨・関節・脊椎疾患治療やリハビリテーションなどを中心とした整形外科診療、外傷や褥瘡の処置・胃瘻増設ほか、小手術を主体とした外科診療にも力を注いでいます。

当院は2008年に新築された1・2病棟(120床)、1999年・2007年に増築された3・5病棟の一部を除き、築30年以上経過した建物がほとんどで、結核・感染症用の待機病室を含む休止病棟、栄養管理室・給食の入るサービスクラウド、外来管理治療棟などの古い建物は間もなく築45年を迎えます。老朽化した建物の建て替えは急務ではありますが、今、何よりも病院にとって大切なのは『人』です。医師や看護師・コメディカルほか、職員にとって魅力ある病院づくりをするため、『人を大切にする』を合言葉に、人材育成と人員確保に努めたいと思います。その上で、来年度末の電子カルテ導入を目標に、職員全員が一丸となって準備を進めているところです。また5年後をめどに、外来管理治療棟(手術室・放射線・検査・リハビリ・サービスクラウド)の各部門を含む)の建て替えを計画するため、健全な経営を維持すると共に、更なる診療機能の充実を図りたいと思います。先にも書きましたが、

当院の常勤医師は12名と少数で、その2倍近くの非常勤医師に診療を支えてもらっています。常勤医師の確保は必須であり、いずれの診療科においても、医師の増員が必要で

す。これまで当院の内部環境について書かせ

て頂きましたが、病院の将来計画を考えるうえで、さらに大切な要素は外部環境です。「地域医療におけるニーズは何か?」「どのような病院が求められているのか?」を模索しながら、同じ医療圏にある数々の病院・診療所の先生方との連携を構築して行かなければなりません。適度な競争原理に基づく医療環境の中で、互いに切磋琢磨しながら、特色ある医療サービスクラウドを提供することで、地域に貢献出来ればと考えています。そして、これまで築いてきた当院の診療体制を維持しながら、高松医療センターが『地域から支持される病院』であるよう努力していきたいと思います。



院長 細川 等

地域医療連携室長ご挨拶

この度、平成25年4月より、1年ぶりに地域医療連携室に戻って参りました。

当院の地域医療連携室の特徴としては、文字通りの地域医療連携のみならず、香川県下全域からの診療依頼のある、政策医療としての結核、神経難病患者の前方・後方支援を行っています。

地域医療連携については、可能な限り要望に応じられるように努力するとともに、昨今の医師不足において、当院でも医師数が減少している中で、いかに円滑に入退院の調整ができるかが課題となっています。

また、当院ではどのようなことが患者さんに対してできるのか、当院の各診療科の診療機能について、十分に地域の先生方にお伝えできていないようにも思います。本誌面におきまして、当院の診療機能や各部門の取り組みについての紹介も行いたいと考えています。

今後さらに、地域の先生方とお互いの実情に対する情報を密に共有し合い、協力しあえる関係を築いていけるよう努力していこうと考えています。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室長
山口 真弘

診療科紹介（循環器内科）

循環器内科医長 辻 哲平

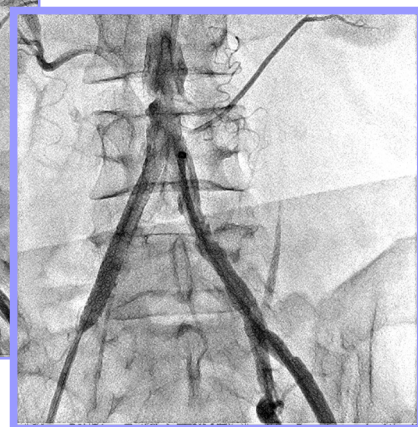
循環器内科は、急性心筋梗塞や急性心不全のような超急性期から高血圧症や高コレステロール血症など生活習慣病といわれる慢性期までの心臓病・血管病が担当です。

心臓にまつわる病気を思いつくままにあげただけでも、狭心症、不整脈、心不全、弁膜症、心筋症と様々です。なかでも特に診療の中心となる部分は心臓の血管が狭くなったりつまったりする冠動脈疾患や、足の動脈の詰まりにより、歩くと徐々に足が痛くなったり、しびれが出たりする閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療を、ともに積極的に行っています。

心筋梗塞発症につながる胸痛の鑑別診断は重要な仕事ですが、心筋梗塞を発症する前段階で治療を開始することが、患者さんの予後を改善するためには更に重要です。地域の先生方と円滑に連携をとりながら、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、喫煙などの危険因子を適切に管理し、一次予防と二次予防に努めると同時に一次・二次予防の重要性を患者さんとご家族に教育指導をしています。



閉塞性動脈硬化症



下肢動脈血管内治療後



左冠動脈狭窄



冠動脈ステント留置後



独立行政法人 国立病院機構

高松医療センター

〒761-0193

香川県高松市新田町乙8

TEL:087-841-2146 FAX:087-841-2178

高松医療センター

URL:<http://www.hosp.go.jp/~takamath/>

検索

発行責任者: 病院長 細川 等 編集責任者: 地域医療連携室